

イノベーション創出
に資する施設整備

学生の修学支援
に資する施設整備

グローバル化に
対応した施設整備

その他

教職員及び学生の相互交流の場所



建物 外観写真

基本情報

大学名：京都工芸繊維大学
建物名：プラザKIT
工期：平成19年4月～平成19年7月
構造・階数：RC 地上1階
延床面積：172㎡
事業費（設計費含む）：49,527千円



整備の方向性

○大学センターホール東アメニティ計画

- ・西部構内の環境整備
- ・既設建物の有効活用
- ・学生のコミュニケーションスペースの拡充
- ・地域に融合した開放感のあるデザイン

計画・設計上のポイント

○学内公募による基本設計

- ・学内設計競争として、学内公募により基本設計を行い、学外への案内、交流スペース、学生・教職員のコミュニティスペース、展示スペースを大学の玄関口として整備した。

○日本の近代建築史に名を残す本野精吾設計の車庫をリノベーション再生

- ・既存の2棟（車庫と倉庫）をリノベーションして再生させ、守衛室を増築し、西部構内の入口に学外へショーケース的役割を担う。
- ・登録有形文化財（車庫）の活用。

Before



After



Before



After



施設整備の効果

○改修による効果

- ・土日祝日は原則閉鎖しているが、平日は午前9時から午後7時30分まで（例外あり）開放しており、学生や教職員の交流、本学刊行物、教育研究活動成果物の掲出・配布、本学で開催された学会、フォーラム等参加者の交流、その他キャンパスアメニティの向上が期待できる活動に利用している。貸し切りの場合は、事前に利用予約をすることにより無償で利用が可能。
- ・事前に利用予約をして利用するものとしては、年間100件程度の利用があり、学内の研究室の打合せや、講義、各種セミナー、取材会場等、クラブ活動等の会合等として利用している。
- ・年に数回作品等の展示公開を行っている。
- ・附属図書館の除籍資料、教職員からの提供図書等を無料で配布する「KITぶらっとお持ち帰りフェア」を毎年1回開催している。